

平成 28 年度 美術講座

# 美術史概論

— 欧米の近現代絵画と幕末明治以降の日本の絵画 —

本年度の美術講座は、大阪大学名誉教授・原田平作先生より、近現代美術の「美術史概論」全 4 講をお届けします。欧米における近現代の美術の流れと、幕末明治以降の日本への影響とを詳しく解説します。近現代の日本美術史を知るうえでも重要な講義です。是非ともご参加ください。

第 1 講 平成 28 年 9 月 19 日(月・祝) 午後 1 時 30 分～3 時  
「なぜ西洋は 19 世紀初めからで、日本は幕末明治以降か — ガイダンス —」

第 2 講 平成 28 年 11 月 23 日(水・祝) 午後 1 時 30 分～3 時  
「西洋 19 世紀から 20 世紀へ — 印象派を中心として —」

第 3 講 平成 29 年 1 月 29 日(日) 午後 1 時 30 分～3 時  
「20 世紀の西洋とアメリカ — エコール・ド・パリから抽象表現主義へ —」

第 4 講 平成 29 年 3 月 18 日(土) 午後 1 時 30 分～3 時  
「幕末明治以降の日本の絵画 — 日本画と洋画 —」

講師：原田平作先生（大阪大学名誉教授）

会場：飯田市美術博物館 2 階講堂

※聴講無料※

## 講師プロフィール

昭和 8 年東京生まれ。33 年京都大学文学部卒。37 年より京都市美術館に勤務し、学芸課長を経て、62 年より大阪大学教授、平成 9 年より愛媛県美術館館長・白鳳女子短期大学教授などをつとめる。日本美術史・西洋美術史を研究し、『京都画壇—江戸末・明治の画人たち』『日本の近代美術—欧米と比較して』などを上梓。また醍醐書房を創設し、雑誌『美術フォーラム 21』を主宰する。大阪大学名誉教授、醍醐書房代表。なお父親は座光寺の出身。